

北条鉄道の車両購入、電子商品券、脱炭素化設備等導入促進補助金など

議案第49号 令和3年度加西市一般会計補正予算（第2号）について

◆ 質 疑

北条鉄道の車両購入 2,900万円の増

問 車両購入後の運行や乗客数などの見通しと費用対効果は。

答 車両導入に当たり、運賃収入を上げ、収益効率を高める投資というよりも、公共交通機関としての役割と責任を安定的に担うための投資と考えています。

問 車両の耐用年数は過ぎており、メンテナンスや部品調達にも費用がかかるのではないかと。

答 JRでこまめにメンテナンスされており、またエンジン等は交換してあるため、すぐに不具合が起こるものではありません。「キハ40」は全国に500両以上残っているもので、部品調達も融通が利くと考えています。



創業や事業展開の支援に取り組みます。事業運営はノウハウを持つ事業者へ委託し、商工会議所との連携や様々なコネクションを活用して充実させたいと考えます。市内事業者からの寄附を賞金に活用させていただきます。

電子商品券 2,350万円の増

問 電子商品券事業補助金の内容と実施予定時期について。

答 消費喚起による経済活性化とキャッシュレス決済の普及促進のため、市内共通商品券の発行と電子化に取り組みます。電子化により運営事務の軽減や利用者の利便性が向上します。今年度は従来のねっぴー商品券も実施しますが、来年度以降は利用状況や事業効果など総合的に判断し、発行の有無や発行割合等を検討していきます。今秋以降の実施に向け進めています。



小規模保育所整備 6,820万1,000円の増

問 小規模保育所とはどのような施設か。また、市内の待機児童数は。

答 4月1日時点の待機児童はゼロ歳児1名、1歳児1名の2名、特定の保育所への入所希望等による入園保留児童は15名です。この待機児童と入園保留児童の解消を図るため、小規模保育所の設置、運営法人の募集手続を進めてきました。小規模保育所の施設基準、職員配置は通常の保育所と同様ですが、満3歳未満の乳幼児が対象で、利用定員は6～19名です。2園が開園します。



脱炭素化設備等導入促進補助金 6,000万円の増

問 補助金の内容について。

答 市内事業者が脱炭素化に貢献する設備投資を行った場合に、経費の一部を補助します。再生可能エネルギー設備は対象経費の3分の2で上限3,000万円、省エネ設備は対象経費の2分の1で上限1,000万円とし、6,000万円を予算計上しています。市内の中小企業者に限定せず、既存の産業団地や現在造成中の加西インター産業団地への進出企業も利用していただきたいと思います。



山田錦産地維持交付金 2,050万円の増

問 交付金の内容について。

答 コロナ禍で日本酒の消費が低迷し、山田錦の生産抑制が行われている状況で、農家の生産意欲と山田錦の産地を維持するため、令和2年産の山田錦を作付、出荷した農家に交付金を支給します。対象農家は約450名で交付単価は10アール当たり5,000円の予定です。



◆ 討 論

原案に反対・修正案に賛成

・車両の運行計画や維持管理コストについての明確な答弁もなく、その計画すらない。約2億円の行き違い設備に加え、さらなる投資は本当にいいのか。市の負担ありきではなく、クラウドファンディングを実施し、鉄道自ら資金調達の努力をすべきだ。（本会議）

原案に賛成・修正案に反対

・車両が故障すれば、運行に支障を来す。来年早々に車検もあり、1カ月間1両が使えないので、早急にもう1両を購入する必要がある。法華口駅の交差設備の効果が出て、通勤・通学客が増えており、これからも増える可能性が高い。（本会議）

ビジネスコンテスト 1,000万円の増

問 ビジネスコンテスト運営委託料の事業内容と賞金の財源は。

答 地域資源を生かした創業や地域課題の解決につながる革新的なビジネスプランを募集し、コンテストを行います。優れたビジネスモデルには賞金を授与し、

◆ 議決結果

賛成多数で原案可決